#### 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款:教育費 項:教育総務費 目:教育指導費

## 事 業 名 障がい者就労オフィス設置費・運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教育研修課 管理調整係 電話番号:058-271-3325

E-mail: c17781@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

18,294 千円 (前年度予算額: 18,341 千円)

#### <財源内訳>

< \\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	H/ \ /											
				財源		内 訳						
区 分	事業費	国 庫支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産収力	至	寄附金	その他	県	債	一財	般源
前年度	18, 341	0	0	0		0	0	45		0	18	, 296
要求額	18, 294	0	0	0		0	0	46		0	18	, 248
決定額	18, 294	0	0	0		0	0	46		0	18	, 248

#### 2 要求内容

#### (1)要求の趣旨(現状と課題)

- ・平成30年8月に中央省庁による障害者雇用水増し問題が発覚し、県教育委員会で 再点検を実施したところ、雇用率の算定誤り判明し、その結果、当初国に報告し ていた雇用率2.5%から1.69%に下がり、法定雇用率2.4%を大きく下回っている 状態であった。
- ・このため、障害者雇用率の改善策の一つとして、令和元年度に岐阜県総合教育セ ンターに障がい者就労オフィスを設置した。

#### (2) 事業内容

- ・岐阜県総合教育センター内に障がい者就労オフィスを設置し、『公務職場』にお ける働く場を提供する。
- ・オフィスでは、岐阜県総合教育センターにおける業務のほか、週に3日程度、岐 阜・西濃地域の県立学校及び市町村立等学校に出向き、校務補助を実施する。
  - ■障がい者就労オフィス 概要
  - 就労場所 岐阜県総合教育センター、 各県立学校、各市町村立等学校
  - ·雇用者数 7名
  - 分 補助職員 • 身
  - 勤務時間 週5日 1日6時間 (9:00~16:00)
  - 業 務 文書封入、執務室・教室・体育館等の清掃、 物品の移動・運搬、校舎周辺の草刈り 等

## (3) 県負担・補助率の考え方

・県(10/10)

## (4)類似事業の有無

・有(人事課「障がい者雇用就労支援オフィス運営費」)

### 3 事業費の積算 内訳

0 于不足切员	<del>21</del> 1.111/	
事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	17, 225	報酬、共済費(補助職員7人分)
旅費	609	費用弁償(通勤手当相当)
消耗品費	240	活動用消耗品費
役務費	170	電話代、郵便代
使用料	50	使用料
合計	18, 294	

# 決定額の考え方

### 4 参 考 事 項

## (1)各種計画での位置づけ

・障害者の雇用の促進等に関する法律 第37条

# 事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

□ 新規要求事業	É
----------	---

■継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県総合教育センター内に「障がい者就労オフィス」を設置し、障がい者者雇用 の拡大を図る。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①障がい者雇用者 数	1人 (H30)	7人	7人	7人	7人	100%
2						

## ○指標を設定することができない場合の理由

### (これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 新型コロナ感染状況に注意しながら、各学校から依頼を受けて、清掃や草むしり等の業務に従事した。 業務を請け負うことにより、教職員の業務負担の軽減に繋がった。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標: 実績: 達成率: %
令和4年度	TO T
	指標① 目標: 実績: 達成率: %

### 2 事業の評価と課題

#### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している O:ほとんどない

(評価)

障害者雇用率水増し問題は、国の機関も含めた全国的な問題となっており、公的機関は率先垂範すべきである。一方で、障がい者の方に気持ち良く働いていただく環境整備が必要であり、本事業はその核となる事業である。

3

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

- 3:期待以上の成果あり
- 2:期待どおりの成果あり
- 1:期待どおりの成果が得られていない
- 0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

予定していた雇用者数を達成しているとともに、各学校からの派遣要望も 多くなってきている。

2

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

令和2年度に公用車を導入したことで、学校への移動がスムーズになった。

2

## (今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項
  - ・事業が直面する課題や改善が必要な事項
  - ・オフィスの安定的な運営
  - ・学校現場におけるニーズとのマッチング

#### (次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
  - ・オフィスの安定的な運営のために、業務依頼の洗い出し及び年間業務計画を策 定し業務量の平準化を行う。
  - ・学校現場でどのようなニーズがあり、どこまで業務ができたかを検証し、ス タッフが行う業務について職域の拡大を図る。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など		